

<b>授業科目名</b>	家庭支援論(2100617)		
<b>時間割名</b>	家庭支援論(70112)		
<b>時間割担当</b>	河村善一		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

子どもが育つ基本的集団としての家庭のあり方についてその機能と意義を学ぶ。子育て支援についてそのニーズと基本的な対応について学び、現代社会における家庭を取り巻く現状について理解し、支援について考えることが出来る知識を身につける。

### 学習の到達目標

- ・子育て環境の変化を歴史的かつマクロな視点で把握し、現代社会における家庭支援の意義や必要性を理解できる。
- ・家庭支援に関わる法や制度、子どもと家庭を支える機関や専門職の役割を了知している。
- ・保護者や子どもの気持ちや潜在的ニーズに気付き、協力して解決を目指す姿勢を身につける。
- ・子育てに関する相談・助言での適切な言語・態度を意識しながら、保護者の状況や家庭の問題に応じた対話ができる。
- ・家庭支援の在り方や子どもの養育環境についての自分の考えを持ち、保育者の役割や保育施設の機能について考えることができる。
- ・社会問題として新聞・テレビ等で報道される子育て支援や子どもの実態に関心を持つ。

### 授業方法・形式

全4日間の集中講義（一日目：第1～4回、二日目：第5～8回、三日目：第9～12回、四日目：第13～15回）  
教科書に沿った講義を基本として、適宜、演習やグループワークを行う。  
また、児童家庭支援センター等の施設見学も実施する。

### 授業計画

- 第1回 家庭支援が求められる背景と意義
- 第2回 家庭支援が求められる背景と意義
- 第3回 家庭支援の理念と役割
- 第4回 発達段階からみた各時期の子どもと家庭の在り方
- 第5回 家庭支援における保育士の役割・倫理・姿勢
- 第6回 保育所・幼稚園における子育て支援の実際
- 第7回 個別の課題を抱える家庭への支援
- 第8回 要保護児童とその家庭への支援
- 第9回 家庭支援の展開過程
- 第10回 家庭支援と法律・制度
- 第11回 家庭支援と地域活動で活動する人たち
- 第12回 家庭支援と専門機関の果たす役割
- 第13回 子育て支援事業の実際（奈良県の家庭教育推進事業）
- 第14回 育児休業制度と子育て支援
- 第15回 様々なケースの子どもに対する支援事例

### 成績評価の基準

基準、配分割合（平常点70%、レポート30%）  
レポート課題：『日本における相対的貧困の現状と課題』  
レポート提出期限：最終日（第13回授業の始め）

### 準備学習・復習及び授

前回までの授業で教えたことを授業中に質問して答えてもらいます。これを平常点から加減しますので、特に児童福祉に関する用語の復習を行って下さい。

### 履修上のアドバイス及

無断で欠席・遅刻・早退をしないなど、受講上の基本的なマナーを守ること。

### 教材・教科書

よくわかる家庭支援論 橋本真紀、山縣文治 編  
ミネルヴァ書房

### 参考書

必要に応じてプリント配布